



バーモントカップ 準優勝! 全日本少年フットサル大会



インタビュー!

今大会はどうでしたか?
 「みんなで声を掛け合い、最後まで戦い抜くことができました」
 自分のプレーはどうでしたか?
 「体格では負けるけれど、落ち着いて、相手の逆をつくことができました」
 これからの目標は?
 「これからもこのチームで、魅力的なサッカーを目指したいです。ドリブルやショートパスをあまりせて、相手を翻弄するサッカーです」

泉会場 6年生
 佐藤りひとくん
 身長 140cm
 体重 28kg



4年生大会県ベスト4!



すばらしい成績です!ちびっこギヤング達はどこまで進化するか!

毎回厳しい戦いが展開される太白区長杯!
 堂々の3連覇!

太白区長杯優勝!



アバンのスクールは個の育成重視!
 技術が向上すれば、選択肢も広がる!
 将来のため、サッカーを楽しむために!

フットメッセ長町 秋保体育館



フットメッセ名取



テクニックを磨け!

<県大会予選リーグ>
 vs 開北FC 5-2 勝ち
 vs 鳴子富永 13-0 勝ち
 vs 石巻山下 6-1 勝ち
 <代表決定戦>
 vs 茂庭台 3-0 勝ち
 <トーナメント1回戦>
 vs YMCA 3-1 勝ち
 <準決勝戦>
 vs RED EAST 5-1 勝ち
 <決勝戦>
 vs ベガルタ 2-6 負け

<コーチより>
 体格が大きく違う相手に、果敢に勝負をしかけていった姿は素晴らしいかったです。肉体的にも、心理的にもプレッシャーがかかる場面で、テクニックを発揮できていたことを高く評価したい。スピード、フィジカルでは勝てない相手に、純粋に技術だけで勝負する姿がかっこ良かった。中学、高校、これから体はいくらでも大きくなる。そうなってからの彼の活躍が今から楽しみです。

あほん
かわらばん
アバンツァーレジュニアサッカーフットサル会報誌

2013年11月号

青木瑞季



インタビュー!

今月の題字を書いてくれたのは、アバンの熱血コーチ、青木瑞季(みづき)コーチです。青木コーチは名門・仙台育英高校サッカー部出身。

サッカーを始めたのは?
 「小学校3年生。学校の先生に誘われ、やってみたらすごく楽しくて・・・」
 趣味は?

「ダーツ。服を買うこと。バイクなど」
 今まで一番思い出に残っていることは?
 「中学校の時、地区大会の決勝で、0-0、残り5分、フリーキックで決勝ゴールを決めた瞬間!」

将来の夢は?
 「サッカー指導者として、小、中学の年代で全国優勝を勝ち取ること」

みんなにメッセージ!
 「1つ1つのプレーを大事にして欲しい。考えてプレーして欲しい。自分を振り返ると、なんとなくサッカーをやっていたことを後悔している。無我夢中でもダメ。考えながら、次につながる練習をしよう!」

今回のバーモントフットサル大会の結果は、今までのアバンの技術練習の取り組みの成果だと感じます。すべての基本は平日のスクールの練習です。アバンは、サッカークラブではありますが、フットサルから学ぶべき点も多いです。フットサル出身の世界のスーパースターは数多くいます。ロナウジーニョ、ロビーニョ、ロナウド、ネイマール! 古くはペレやジーコまで! 数え上げればきりがありません。狭いスペースでのトレーニングは技術を磨くのに最適なのです。何よりもボールタッチが繊細になります。雑なボールタッチではとても狭いスペースで自由にプレーすることはできません。また、プレッシャーも当然なくなるので早い判断が要求されます。大きなコートでやるより、ボールに触る回数、プレーに関わる回数が多くなるので、技術習得には最適な環境と言えます。